

ふるさと教育 取組事例

学校名	松江市立城北小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
2	生活科	大きくそだてわたしの野さい ～じゃがいも大作せん～	地域ボランティアによる学習支援
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々に教えていただきながらじゃがいもを育てる活動を通して、じゃがいもが育つ様子に興味をもち、それらに生命があることや成長していることに気付き、親しみを持って大切にする。</li> <li>・地域の方々に教えていただきながらじゃがいもを育てる活動を通して、地域の方々との関わりを深め、温かさに気付き、地域の方々への愛着を深めることができるようにする。</li> </ul>	
<p><b>1 取組の概要</b>                  公民館の方、JAの方、地域に住む方々に来ていただいて、じゃがいもの植え方・育て方・収穫の仕方などについて話を聞いたり、一緒にじゃがいもの世話をしたりするとともに、交流活動や活動終わりにお礼の気持ちを伝える中で交流を深める。</p> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b>                  (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)                  ・地域の方々への愛着を深めるために、ボランティアの方々に学習に参加していただき、できる限り住んでおられる地区の小グループごとの専属となってもらい交流活動及び栽培活動を行うことで、より地域に根差したつながりや関わりができるようにした。                  (学力育成の視点から)                  ・小グループごとに地域の方々に入ってもらうことで、気軽に助言をもらったり質問をしたりでき児童がじゃがいもの育つ様子に興味をもち、親しみを持って大切にできるようにした。また、地域の方や友達と協力して育てている意識をもち、じゃがいもへの愛着をもてるようにした。</p> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</b>                  (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)                  ・自分のグループ担当となった地域の方と毎回関わることで距離が縮まり、少しの時間にも話をしたり、じゃんけんなどを楽しんだりする様子が見られた。活動日以外にも、担当の方との出会いを喜んだり、身近に感じたりする姿も見られた。                  ・地域の方々と仲を深めたことで、自然とお礼を伝えたいという意見が出た。心を込めてプレゼントとお手紙を準備し、渡すことができた。                  (学力育成の視点から)                  ・各グループに地域の方がおられることで直接ポイントを教えていただいたり、疑問をすぐに質問したりできたため、栽培について知識がついた。                  ・地域の方と友達と協力して育てたことで、活動のない日にも水やりをしたり、成長した様子を興味津々で調べたりするなど大切に育てる様子が見られた。</p> <p><b>4 課題や今後の展望</b>                  「じゃがいも大作戦」は何年も前から公民館と連携して行っている活動である。続いてきた活動だからこそ、体験をして終わりや教師主体とならないように、事前に行った町探検とのつながりを意識した流れにしたり、活動後お世話になった地域の方にどんなことができるかを子ども主体で考えたりするなど意識する必要があると感じた。</p>			

